

第 51 回鋼構造基礎講座



「 歴史的鋼橋の再生・利活用

～田中賞受賞事例に見る鋼構造だからこそ可能な保存・再生技術～ 」

鋼構造委員会・鋼構造継続教育推進小委員会では、土木学会継続教育（CPD）の一環として、鋼構造の初級、中級技術者を主な対象とした基礎講座を例年開催しております。

第 46 回講座「成功から学ぶ～長持ちしている歴史的鋼橋」（隅田川船上見学会）では、明治～昭和初期に架設された鋼橋が 100 年を超えてなお現役で活躍する姿を間近に見学し、「なぜ長持ちしているのか」を体感的に学びました。

本講座はその発展版として、「どう遺すか」「どう活かすか」を実務者の視点から深掘りします。近年、土木学会田中賞を受賞し話題となった歴史的鋼橋の長寿命化・再生・復元の最新事例を取り上げます。具体的には、ジャッキアップによるアーチ形状復元（堂島大橋・R2 田中賞）、クレーン一括相吊りによる丸ごと移設（中橋・R7 田中賞）、トラスの短縮・移設による部分再生（霞橋・H25 田中賞）、重要文化財の保存修理とリベット復元（美濃橋・R3 田中賞、森村橋・R2 田中賞）など、「切る、動かす、形を戻す、復元する」鋼構造だからこそ可能な離れ業の数々を紹介します。事例 5 橋すべてが土木学会田中賞を受賞した実績ある技術です。

総論では海外事例や東京の重要文化財橋梁（永代橋・清州橋等）の保全にも触れ、歴史的鋼橋の保存・再生に関する幅広い知見を提供します。橋梁の維持管理・保存再生に携わる方、鋼構造の設計・施工に関心のある方など、ふるってご参加ください。

1. 主 催 土木学会 （鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会）
2. 期 日 2026 年 11 月 20 日（金） 13:00～16:55
3. 会 場 土木学会講堂 （WEB 配信併用） （ZOOM ウェビナーによる配信）
4. 参加費 対面方式 正会員 3,300 円、非会員 4,400 円、学生 550 円
WEB 配信 正会員 3,300 円、非会員 4,400 円、学生 550 円
（講座データ配信代を含む）

5. プログラム

- | | | |
|---------------|---|---|
| 13:00 ～ 13:10 | : | 開会の挨拶
大垣 賀津雄（鋼構造継続教育推進小委員会委員長） |
| 13:10 ～ 14:10 | : | 【総論】歴史的鋼橋の基礎知識と利活用の事例
五十畑 弘（道路文化研究所、元日本大学教授） |
| 14:10 ～ 14:20 | : | 休憩 |
| 14:20 ～ 14:50 | : | 【若返らせる】堂島大橋の長寿命化
入谷 琢哉（大阪市）
山内 誉史（エム・エム ブリッジ） |
| 14:50 ～ 15:20 | : | 【動かす】中橋の移設再生
西川 宇市郎（巴コーポレーション） |
| 15:20 ～ 15:30 | : | 休憩 |
| 15:30 ～ 16:00 | : | 【蘇らせる】霞橋の移設再生
上野 淳人（オリエンタルコンサルタンツ） |
| 16:00 ～ 16:45 | : | 【受け継ぐ】美濃橋・森村橋の文化財復元 |

崔 静妍（文化財保存計画協会）

16:45 ～ 16:55 : 閉会の挨拶

小西 日出幸〔鋼構造継続教育推進小委員会〕

司会 : 熊澤 美早〔鋼構造継続教育推進小委員会〕

なお、当日の講演内容、時間、講演者等につきましては、都合により変更の場合がありますのでご了承下さい。

6. 申込方法 参加形態にご注意の上、土木学会 HP からお申込み下さい。

【会場参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/252608>

【オンライン参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/2526081>

支払完了後の変更・キャンセルはできませんのでご注意ください。

7. 申込期限 クレジットカード決済： 2026 年 11 月 17 日（火）17：00
 コンビニ決済： 2026 年 11 月 10 日（火）17：00

8. CPDについて 本講座は土木学会CPD認定プログラムです。（申請中）

9. 問合先 （公社）土木学会 鋼構造委員会担当事務局宛
Email： sugawara” at” jsce.or.jp ※at を@に変更してください